

第8次新潟県地域保健医療計画「周産期」指標

No.	アウトカム	指標名	定義	調査名	調査年	単位	新潟県		(参考) 二次医療圏						(参考) 全国		
							目標値 (R1)	現状値	下越	新潟	県央	中越	魚沼	上越		佐渡	
A	安心して妊娠・出産・育児ができる医療提供体制が整備されている。	新生児死亡率	生後28日未満の死亡数/出生数×1,000	人口動態調査	令和4年	出生千対	減少させる	1.1								0.8	
		周産期死亡率	(出生数+妊娠22週以後の死産数)/出生数×1,000	人口動態調査	令和4年	出生千対	減少させる	4.2								3.3	
		妊産婦死亡率	妊産婦死亡数/出産数×100,000	人口動態調査	令和4年	出産10万対	減少させる	0.8								0.4	
		出生数	出生数	人口動態調査	令和4年	人	維持する	11,732								770,759	
		出生率	人口千人に対する出生数の割合	人口動態調査	令和4年	出生千対	増加させる	5.5								6.3	
		合計特殊出生率	15~49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの	人口動態調査	令和4年		増加させる	1.27								1.26	
		子育て環境整備に関する県民満足度	「とても子育てがしやすいと思う」「どちらかと言えば子育てがしやすいと思う」と回答した人の割合	県調査	令和4年度	%	向上させる	48.0									
B	1	医師の勤務環境の改善が可能な体制が整備されている。	標準化分娩取扱医師数/分娩件数×1,000	医師確保計画	令和5年		向上させる	8.7								10.6	
			標準化小児科医師数/分娩件数×1,000	医師確保計画	令和5年		向上させる	108.7								115.1	
	2	正常分娩等に対し安全な医療を提供するための地域周産期施設間の連携体制が整備されている。	新生児死亡率	生後28日未満の死亡数/出生数×1,000	人口動態調査	令和4年	出生千対	減少させる	1.1								0.8
			周産期死亡率	(出生数+妊娠22週以後の死産数)/出生数×1,000	人口動態調査	令和4年	出生千対	減少させる	4.2								3.3
			妊産婦死亡率	妊産婦死亡数/出産数×100,000	人口動態調査	令和4年	出産10万対	減少させる	0.8								0.4
	3	母子に配慮した周産期医療の提供が可能な体制が整備されている。	助産師外来を行っている周産期母子医療センター数	助産師外来を行っている周産期母子医療センター数	周産期医療体制調査	令和4年	施設	増加させる	3								289
	4	周産期の救急対応が24時間可能な体制が整備されている。	母体・新生児搬送数・都道府県内搬送率	母体・新生児県内搬送件数/母体・新生児搬送数	周産期医療体制調査	令和3年		維持する	1.0								1.0
			母体・新生児搬送数のうち受入困難事例の件数	医療機関に受入の照会を行った回数が4回以上の件数	救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査	令和3年	件	減少させる	8								572
	5	ハイリスク妊産婦に対する医療の提供が可能な体制が整備されている。	MFICU病床数	MFICU病床数	医療施設調査	令和2年		維持する	18	12			6				867
	6	新生児医療の提供が可能な体制が整備されている。	NICU病床数	NICU病床数	医療施設調査	令和2年		維持する	42	6	18			12	6		3,394

第8次新潟県地域保健医療計画「周産期」指標

No.	アウトカム	指標名	定義	調査名	調査年	単位	新潟県		(参考) 二次医療圏							(参考) 全国		
							目標値 (R11)	現状値	下越	新潟	県央	中越	魚沼	上越	佐渡			
B	7	NICUに入室している新生児の療養・療育支援及び在宅ケアへの円滑な移行が可能な体制が整備されている。	NICU・GCU長期入院児数	周産期母子医療センターのNICU・GCUに1年を超えて入院している児数	周産期医療体制調査	令和3年	人	減少させる	4									307
	8	有事でも適切な周産期医療を受けることが可能な体制が整備されている。	災害時小児周産期リエゾン任命者数	災害時小児周産期リエゾン任命者数	都道府県	令和4年4月1日時点	人	増加させる	19									804
C	1	必要な数の産科医及び小児科医が確保されている。	産科・産婦人科・婦人科医師数	主として産科・産婦人科・婦人科に従事している医師数	医師・歯科医師・薬剤師統計	令和2年	人	増加させる	167	13	87	8	27	11	17	4	11,678	
			小児科医師数	主として小児科に従事している医師数	医師・歯科医師・薬剤師統計	令和2年	人	増加させる	269	21	130	23	55	14	21	5	17,997	
	2	周産期母子医療センターを中心に医療資源の集中・重点化が図られている。	母体・胎児専門医数	母体・胎児専門医数	日本周産期・新生児医学会	令和4年10月31日現在	人	増加させる	23									1,402
			新生児専門医数	新生児専門医数	日本周産期・新生児医学会	令和4年11月1日現在	人	増加させる	21									1,046
	3	周産期にかかわる医療機関の役割分担や連携強化が図られている。	妊婦健診を実施している医療機関数	妊婦健診を実施している医療機関数	県調査	令和5年度	医療機関	増加させる	67									
	4	二次医療圏域に1つは分娩取扱機能を維持するなど、ローリスク対応を行う医療機関の一定の分娩取扱機能が維持されている。	分娩を取扱う産科又は産婦人科病院数	分娩を取扱う産科又は産婦人科病院数	医療施設調査	令和2年	病院	維持する	21	2	7	1	5	2	3	1		963
分娩を取扱う産科又は産婦人科一般診療所数			分娩を取扱う産科又は産婦人科一般診療所数	医療施設調査	令和2年	診療所	維持する	16	2	9	2		1	2			1,107	
産科・産婦人科・婦人科医師数			主として産科・産婦人科・婦人科に従事している医師数	医師・歯科医師・薬剤師統計	令和2年	人	増加させる	167	13	87	8	27	11	17	4	11,678		

第8次新潟県地域保健医療計画「周産期」指標

No.	アウトカム	指標名	定義	調査名	調査年	単位	新潟県		(参考) 二次医療圏						(参考) 全国	
							目標値 (R1)	現状値	下越	新潟	県央	中越	魚沼	上越		佐渡
5	正常分娩や妊婦健診等を含めた分娩前後の診療を安全に実施可能な体制が整備されている。	分娩を取扱う産科又は産婦人科病院数	分娩を取扱う産科又は産婦人科病院数	医療施設調査	令和2年	病院	維持する	21	2	7	1	5	2	3	1	963
		分娩を取扱う産科又は産婦人科一般診療所数	分娩を取扱う産科又は産婦人科一般診療所数	医療施設調査	令和2年	診療所	維持する	16	2	9	2	1	2			1,107
		人工妊娠中絶実施率	人工妊娠中絶実施率	衛生行政報告例	令和4年	%	低下させる	4.2								
6	ハイリスク分娩や急変時には地域周産期母子医療センター等へ迅速に搬送が可能な体制が整備されている。	母体・新生児搬送数・都道府県内搬送率	母体・新生児県内搬送件数/母体・新生児搬送数	周産期医療体制調査	令和3年		維持する	1.0								1.0
		母体・新生児搬送数のうち受入困難事例の件数	医療機関に受入の照会を行った回数が4回以上の件数	救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査	令和3年	件	減少させる	8								
7	精神疾患を合併している妊婦の管理や緊急入院に対応できる診療体制が整備されている。	ハイリスク分娩管理加算届出医療機関数	ハイリスク分娩管理加算の届出医療機関数	診療報酬施設基準	令和3年3月31日現在	医療機関	増加させる	12	1	3		4	1	2	1	750
8	産後うつを早期に発見し支援する体制が整備されている。	産婦健康診査を実施している市町村数	産婦健康診査を実施している市町村数	県調査	令和5年度		増加させる	27								
		産婦ケア事業を実施している市町村数	産婦ケア事業を実施している市町村数	県調査	令和5年度		増加させる	27								
9	周産期母子医療センターを中心とした周産期医療体制による、24時間対応可能な周産期の救急対応が可能となっている。	周産期母子医療センターにおける分娩数	周産期母子医療センターにおける分娩数	周産期医療体制調査	令和3年	件	増加させる	2462								204,798
		(母体・新生児搬送数・都道府県内搬送率)	母体・新生児県内搬送件数/母体・新生児搬送数	周産期医療体制調査	令和3年		維持する	1.0								1.0
		(母体・新生児搬送数のうち受入困難事例の件数)	医療機関に受入の照会を行った回数が4回以上の件数	救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査	令和3年	件	減少させる	8								572
10	総合周産期母子医療センターを中心に、必要に応じて協力医療施設を定め、精神疾患を含めた合併症妊娠や胎児・新生児異常等、母体又は児のリスクが高い妊娠に対応する体制が整備されている。	ハイリスク分娩管理加算届出医療機関数	ハイリスク分娩管理加算の届出医療機関数	診療報酬施設基準	令和3年3月31日現在	医療機関	増加させる	12	1	3		4	1	2	1	750

第8次新潟県地域保健医療計画「周産期」指標

No.	アウトカム	指標名	定義	調査名	調査年	単位	新潟県							(参考) 全国	
							目標値 (R1)	現状値	下越	新潟	県央	中越	魚沼		上越
11	新生児搬送体制やNICU、GCUが整備されている。	NICU病床数	NICU病床数	医療施設調査	令和2年	床	維持する	42	6	18	12	6			3,394
		GCU病床数	GCU病床数	医療施設調査	令和2年	床	維持する	71	6	33	18	6	8		4,090
12	必要な数の産科医及び新生児医が確保されている。	母体・胎児専門医数	母体・胎児専門医数	日本周産期・新生児医学会	令和4年10月31日現在	人	増加させる	23							1,402
	必要な数の産科医及び新生児医が確保されている。	新生児専門医数	新生児専門医数	日本周産期・新生児医学会	令和4年11月1日現在	人	増加させる	21							1,046
C 13	医療的ケア児の生活の場における療養・療育への円滑な移行を支援する体制が整備されている。	小児への訪問看護を行うことが可能な訪問看護ステーション数	小児への訪問看護を行うことが可能な訪問看護ステーション数	県調査	令和3年度	施設	増加させる	62							
	医療的ケア児の生活の場における療養・療育への円滑な移行を支援する体制が整備されている。	訪問看護利用者数(精神以外)(15歳未満)	訪問看護利用者数(精神以外)(15歳未満)	NDB	令和3年度	人	増加させる	183							
	医療的ケア児の生活の場における療養・療育への円滑な移行を支援する体制が整備されている。	退院支援を受けたNICU・GCU入院児数	退院支援を受けたNICU・GCU入院児数	NDB	令和3年度	人	増加させる	142	73	31	38				15,809
	医療的ケア児の生活の場における療養・療育への円滑な移行を支援する体制が整備されている。	NICU入院児の退院支援を専任で行う者が配置されている周産期母子医療センター数	NICU入院児の退院支援を専任で行う者が配置されている周産期母子医療センター数	周産期医療体制調査	令和5年1月1日時点	施設	増加させる	5							200
14	在宅療養・療育を行っている児の家族等に対し、レスパイト等の支援を実施する体制が整備されている。	レスパイトに対応している施設数	医療型短期入所事業所の数	県調査	令和5年	施設	増加させる	8	0	3	1	2	0	2	0
	在宅療養・療育を行っている児の家族等に対し、レスパイト等の支援を実施する体制が整備されている。	医療的ケア児コーディネーターを配置している市町村数	医療的ケア児コーディネーターを配置している市町村数	県調査	令和4年度	市町村	増加させる	9							
15	地域の周産期医療ネットワークを災害時に有効活用できる体制が整備されている。	災害時小児周産期リエゾン任命者数	災害時小児周産期リエゾン任命者数	都道府県	令和4年4月1日時点	人	増加させる	19							804